

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表及び四半期財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。
- (2) 当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。
- (3) 前第3四半期連結会計期間（平成22年2月1日から平成22年4月30日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年8月1日から平成22年4月30日まで）は四半期連結財務諸表を作成しておりません。そのため、前第3四半期連結会計期間（平成22年2月1日から平成22年4月30日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年8月1日から平成22年4月30日まで）に係る四半期連結損益計算書に代えて、前第3四半期会計期間（平成22年2月1日から平成22年4月30日まで）及び前第3四半期累計期間（平成21年8月1日から平成22年4月30日まで）に係る四半期損益計算書を記載しております。  
また、前第3四半期連結累計期間（平成21年8月1日から平成22年4月30日まで）に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書に代えて、前第3四半期累計期間（平成21年8月1日から平成22年4月30日まで）に係る四半期キャッシュ・フロー計算書を記載しております。
- (4) 前連結会計年度（平成21年8月1日から平成22年7月31日まで）は連結財務諸表を作成していないため、前連結会計年度（平成21年8月1日から平成22年7月31日まで）に係る要約連結貸借対照表に代えて、前事業年度（平成21年8月1日から平成22年7月31日まで）に係る要約貸借対照表を記載しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期会計期間（平成22年2月1日から平成22年4月30日まで）及び前第3四半期累計期間（平成21年8月1日から平成22年4月30日まで）に係る四半期財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成23年2月1日から平成23年4月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年8月1日から平成23年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】  
 【当第3四半期連結会計期間末】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末  
 (平成23年4月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,715,325
受取手形及び売掛金	※1 1,392,391
商品及び製品	11,700
仕掛品	3,344
原材料及び貯蔵品	270,756
その他	107,537
貸倒引当金	△28,171
流動資産合計	3,472,883
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	751,003
土地	972,492
その他（純額）	667,766
有形固定資産合計	※2 2,391,263
無形固定資産	
のれん	11,575
その他	105,045
無形固定資産合計	116,620
投資その他の資産	
投資有価証券	429,011
関係会社株式	20,427
その他	322,156
貸倒引当金	△32,233
投資その他の資産合計	739,362
固定資産合計	3,247,246
資産合計	6,720,129
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	※1 1,306,756
短期借入金	※3 973,591
未払法人税等	68,445
リース債務	33,629
賞与引当金	29,770
その他	360,437
流動負債合計	2,772,630
固定負債	
長期借入金	1,621,021
リース債務	101,670
資産除去債務	7,403
その他	474,245
固定負債合計	2,204,340
負債合計	4,976,970

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末  
(平成23年4月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	411,920
資本剰余金	441,153
利益剰余金	856,132
自己株式	△22,349
株主資本合計	1,686,857
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	45,640
評価・換算差額等合計	45,640
少数株主持分	10,661
純資産合計	1,743,159
負債純資産合計	6,720,129

## 【前事業年度末の要約貸借対照表】

(単位：千円)

前事業年度末に係る  
要約貸借対照表  
(平成22年7月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,151,521
受取手形及び売掛金	※1 1,434,968
商品及び製品	12,265
仕掛品	12,675
原材料及び貯蔵品	269,036
未収還付法人税等	48,159
その他	148,863
貸倒引当金	△33,411
流動資産合計	3,044,077
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	694,870
土地	952,440
その他（純額）	479,086
有形固定資産合計	※2 2,126,398
無形固定資産	
無形固定資産	127,529
投資その他の資産	
投資有価証券	385,874
関係会社株式	86,500
その他	383,455
貸倒引当金	△84,780
投資その他の資産合計	771,050
固定資産合計	3,024,978
資産合計	6,069,055
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	※1 1,376,188
短期借入金	※3 832,701
賞与引当金	19,229
その他	※1 332,871
流動負債合計	2,560,990
固定負債	
長期借入金	1,306,383
その他	478,193
固定負債合計	1,784,576
負債合計	4,345,567

(単位：千円)

前事業年度末に係る  
要約貸借対照表  
(平成22年7月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	411,920
資本剰余金	441,153
利益剰余金	854,726
自己株式	△1,144
株主資本合計	1,706,656
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	16,831
評価・換算差額等合計	16,831
純資産合計	1,723,488
負債純資産合計	6,069,055

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【前第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年4月30日)
売上高	※ 9,529,344
売上原価	6,862,684
売上総利益	2,666,660
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	912,809
貸倒引当金繰入額	73,866
賞与引当金繰入額	23,991
その他	1,425,142
販売費及び一般管理費合計	2,435,809
営業利益	230,850
営業外収益	
受取利息	56
受取配当金	2,793
受取賃貸料	21,533
作業くず売却益	10,810
その他	9,812
営業外収益合計	45,005
営業外費用	
支払利息	45,667
貸倒引当金繰入額	2,448
その他	2,668
営業外費用合計	50,784
経常利益	225,071
特別利益	
固定資産売却益	4,478
その他	40
特別利益合計	4,518
特別損失	
固定資産除却損	8,029
投資有価証券評価損	17,994
関係会社株式評価損	1,592
特別損失合計	27,615
税引前四半期純利益	201,974
法人税、住民税及び事業税	84,568
法人税等調整額	5,531
法人税等合計	90,099
四半期純利益	111,875

## 【当第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)
売上高	※ 9,627,456
売上原価	6,817,082
売上総利益	2,810,373
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	1,009,346
賞与引当金繰入額	24,932
その他	1,636,746
販売費及び一般管理費合計	2,671,025
営業利益	139,347
営業外収益	
受取利息	40
受取配当金	3,037
受取賃貸料	17,441
作業くず売却益	12,920
その他	23,013
営業外収益合計	56,453
営業外費用	
支払利息	44,011
持分法による投資損失	9,461
為替差損	33
その他	82
営業外費用合計	53,588
経常利益	142,212
特別利益	
固定資産売却益	1,000
貸倒引当金戻入額	4,783
その他	79
特別利益合計	5,863
特別損失	
固定資産除却損	7,476
投資有価証券評価損	243
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,287
特別損失合計	12,006
税金等調整前四半期純利益	136,069
法人税、住民税及び事業税	65,266
法人税等調整額	22,210
法人税等合計	87,476
少数株主損益調整前四半期純利益	48,592
少数株主損失(△)	△4,310
四半期純利益	52,903

## 【前第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)
売上高	※ 2,579,558
売上原価	2,015,155
売上総利益	564,403
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	283,823
貸倒引当金繰入額	6,298
賞与引当金繰入額	15,994
その他	386,005
販売費及び一般管理費合計	692,121
営業損失(△)	△127,718
営業外収益	
受取利息	19
受取賃貸料	7,216
作業くず売却益	3,849
その他	1,350
営業外収益合計	12,436
営業外費用	
支払利息	12,760
貸倒引当金繰入額	139
その他	2,668
営業外費用合計	15,568
経常損失(△)	△130,851
特別利益	
固定資産売却益	30
投資有価証券評価戻入益	11,997
その他	40
特別利益合計	12,067
特別損失	
固定資産除却損	560
投資有価証券評価損	9,644
特別損失合計	10,204
税引前四半期純損失(△)	△128,987
法人税、住民税及び事業税	△57,739
法人税等調整額	5,761
法人税等合計	△51,977
四半期純損失(△)	△77,009



## 【当第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)	
売上高	※ 2,131,336
売上原価	1,658,453
売上総利益	472,883
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	318,374
貸倒引当金繰入額	6,097
賞与引当金繰入額	16,621
その他	375,965
販売費及び一般管理費合計	717,059
営業損失(△)	△244,175
営業外収益	
受取利息	16
受取賃貸料	5,799
作業くず売却益	3,913
その他	3,206
営業外収益合計	12,936
営業外費用	
支払利息	11,162
持分法による投資損失	5,502
営業外費用合計	16,665
経常損失(△)	△247,904
特別利益	
固定資産売却益	1,000
特別利益合計	1,000
特別損失	
固定資産除却損	31
投資有価証券評価損	243
特別損失合計	275
税金等調整前四半期純損失(△)	△247,179
法人税、住民税及び事業税	△87,293
法人税等調整額	△2,463
法人税等合計	△89,757
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△157,422
少数株主損失(△)	△704
四半期純損失(△)	△156,718

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】  
【前第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成22年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	201,974
減価償却費	294,666
受取利息及び受取配当金	△2,850
支払利息	45,667
投資有価証券評価損	17,994
関係会社株式評価損	1,592
固定資産売却損益 (△は益)	△4,478
固定資産除却損	8,029
売上債権の増減額 (△は増加)	△231,536
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,255
仕入債務の増減額 (△は減少)	102,385
その他	104,352
小計	536,541
利息及び配当金の受取額	2,850
利息の支払額	△42,330
法人税等の支払額	△131,924
営業活動によるキャッシュ・フロー	365,136
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△280,097
有形固定資産の売却による収入	28,230
無形固定資産の取得による支出	△41,049
投資有価証券の取得による支出	△35,267
差入保証金の差入による支出	△4,366
その他	△11,426
投資活動によるキャッシュ・フロー	△343,977
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	△513,972
配当金の支払額	△40,132
財務活動によるキャッシュ・フロー	45,895
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	67,054
現金及び現金同等物の期首残高	1,170,208
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 1,237,262

## 【当第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成22年8月1日  
至平成23年4月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	136,069
減価償却費	266,975
のれん償却額	1,934
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,783
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,540
受取利息及び受取配当金	△3,077
固定資産売却損益 (△は益)	△1,000
固定資産除却損	7,476
支払利息	44,011
持分法による投資損益 (△は益)	9,461
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,287
売上債権の増減額 (△は増加)	52,722
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8,889
仕入債務の増減額 (△は減少)	△58,447
その他	58,961
小計	534,021
利息及び配当金の受取額	3,077
利息の支払額	△44,989
法人税等の還付額	51,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	543,322
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△371,092
有形固定資産の売却による収入	1,895
投資有価証券の取得による支出	△10,355
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	※2 △8,905
無形固定資産の取得による支出	△9,991
差入保証金の回収による収入	18,369
子会社株式の取得による支出	△2,340
その他	△9,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△391,770
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000
長期借入れによる収入	900,000
長期借入金の返済による支出	△544,472
リース債務の返済による支出	△23,289
少数株主からの払込みによる収入	1,300
配当金の支払額	△40,004
その他	△21,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	372,328
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	523,846
現金及び現金同等物の期首残高	1,151,521
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	39,958
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 1,715,325

【継続企業の前提に関する事項】

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

項目	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)
1 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間より、株式取得に伴い新たに連結子会社となった株式会社味香り戦略研究所及び重要性が増したプリントハウス株式会社を連結の範囲に含めております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 2社</p>
2 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ261千円減少し、税金等調整前四半期純利益は4,549千円減少しております。 また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は7,289千円であります。</p> <p>(2) 「企業結合に関する会計基準」等の適用 第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。</p>

なお、当社は第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は、以下のとおりです。

項目	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日至平成23年4月30日)
1 連結の範囲に関する事項	(1) 連結子会社の数 2社 (2) 連結子会社の名称 プリントハウス株式会社 平成22年5月に当社グループの100%出資によりプリントハウス株式会社を設立しました。平成22年7月期においては、同社は設立初年度で重要性が乏しかったため、非連結子会社としておりましたが、当連結会計年度より、重要性が増したため連結の範囲に含めております。 株式会社味香り戦略研究所 平成22年8月に株式を追加取得したことに伴い、当社の連結子会社となりました。 (3) 非連結子会社の名称等 該当事項はありません。
2 持分法の適用に関する事項	(1) 持分法を適用した関連会社の数 2社 (2) 持分法を適用した会社の名称 株式会社プリプレス・センター、システムデザイン開発株式会社
3 連結子会社の事業年度等に関する事項	連結子会社のうち、(株)味香り戦略研究所の決算日は3月31日であり、四半期連結財務諸表の作成にあたり、四半期連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。また、連結子会社のうちプリントハウス(株)の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。
4 会計処理基準に関する事項	(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法 ① 有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定) 時価のないもの 移動平均法による原価法 ② たな卸資産 イ) 商品 売価還元法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法) ロ) 製品、仕掛品 個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法) ハ) 原材料、貯蔵品 総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法) (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法 ① 有形固定資産(リース資産を除く) 建物(建物附属設備を除く) イ) 平成10年3月31日以前に取得したもの……旧定率法 ロ) 平成10年4月1日から平成19年3月31日までに取得したもの……旧定額法 ハ) 平成19年4月1日以降に取得したもの……定額法 建物以外 イ) 平成19年3月31日以前に取得したもの……旧定率法 ロ) 平成19年4月1日以降に取得したもの……定率法

項目	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日至平成23年4月30日)
4 会計処理基準に関する事項	<p>なお、取得価額10万円以上20万円未満の資産については、3年間で均等償却する方法を採用しております。</p> <p>また、主な耐用年数は以下のとおりであります。</p> <p>建物 15年～31年 機械及び装置 4年～10年</p> <p>②無形固定資産（リース資産を除く） 定額法 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。</p> <p>③リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p> <p>(3)重要な引当金の計上基準</p> <p>①貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>②賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額のうち当第3四半期連結会計期間の負担額を計上しております。</p> <p>(4)重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準 外貨建金銭債権債務は四半期決算日直物為替相場により円換算し、換算差額は損益として処理しております。</p> <p>(5)重要なヘッジ会計の方法</p> <p>①ヘッジ会計の方法 ヘッジ会計の要件を満たす金利スワップ取引について、特例処理を採用しております。</p> <p>②ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘッジ手段 金利スワップ取引</li> <li>・ヘッジ対象 借入金利</li> </ul> <p>③ヘッジ方針 当社グループの金利スワップ取引は、借入金利の変動によるリスク回避を目的としており、投機的な取引は行わない方針であります。</p> <p>(6)その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項</p> <p>①特定退職金共済制度 従業員の退職金の支給に備えて当該制度に加入しており、自己都合退職による期末要支給額の100%相当額を掛金として支出しております。</p> <p>②消費税等の会計処理 税抜方式によっております。</p>
5 のれん及び負ののれんの償却に関する事項	のれんは、5年間の定額法により償却を行っております。
6 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲	四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

【簡便な会計処理】

項目	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)
1 固定資産の減価償却費の算定方法	減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
2 棚卸資産の評価方法	当第3四半期連結会計期間末におけるたな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し、前事業年度末に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
3 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、前事業年度末からの重要な一時差異の変動を加味したものを使用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)							
※1	<p>四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。</p> <p>なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、期末残高に含まれております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受取手形</td> <td style="text-align: right;">765千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支払手形</td> <td style="text-align: right;">219,833千円</td> </tr> </table>	受取手形	765千円	支払手形	219,833千円		
受取手形	765千円						
支払手形	219,833千円						
※2	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">有形固定資産の減価償却累計額</td> <td style="text-align: right;">3,632,349千円</td> </tr> </table>	有形固定資産の減価償却累計額	3,632,349千円				
有形固定資産の減価償却累計額	3,632,349千円						
※3	<p>当座貸越契約</p> <p>運転資金の効率的な調達を行うため、当座貸越契約を締結しております。</p> <p>当四半期連結会計期間末における当座貸越契約に係る借入未実行残高等は次のとおりです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">当座貸越契約の総額</td> <td style="text-align: right;">3,400,000千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">300,000千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">差引額</td> <td style="text-align: right;">3,100,000千円</td> </tr> </table>	当座貸越契約の総額	3,400,000千円	借入実行残高	300,000千円	差引額	3,100,000千円
当座貸越契約の総額	3,400,000千円						
借入実行残高	300,000千円						
差引額	3,100,000千円						

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末の（四半期連結貸借対照表関係）注記は記載しておりません。

なお、前事業年度末における（貸借対照表関係）注記は次のとおりであります。

前事業年度末 (平成22年7月31日)							
※1	<p>期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。</p> <p>なお、当期末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">受取手形</td> <td style="text-align: right;">869千円</td> </tr> <tr> <td>支払手形</td> <td style="text-align: right;">191,805千円</td> </tr> <tr> <td>設備関係支払手形</td> <td style="text-align: right;">14,017千円</td> </tr> </table>	受取手形	869千円	支払手形	191,805千円	設備関係支払手形	14,017千円
受取手形	869千円						
支払手形	191,805千円						
設備関係支払手形	14,017千円						
※2	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">有形固定資産の減価償却累計額</td> <td style="text-align: right;">3,499,040千円</td> </tr> </table>	有形固定資産の減価償却累計額	3,499,040千円				
有形固定資産の減価償却累計額	3,499,040千円						
※3	<p>当座貸越契約</p> <p>運転資金の効率的な調達を行うため、当座貸越契約を締結しております。</p> <p>当事業年度末における当座貸越契約に係る借入未実行残高等は次のとおりです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当座貸越契約の総額</td> <td style="text-align: right;">3,400,000千円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">200,000千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,200,000千円</td> </tr> </table>	当座貸越契約の総額	3,400,000千円	借入実行残高	200,000千円	差引額	3,200,000千円
当座貸越契約の総額	3,400,000千円						
借入実行残高	200,000千円						
差引額	3,200,000千円						



(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前第3四半期連結累計期間の(四半期連結損益計算書関係)注記は記載しておりません。

なお、前第3四半期累計期間における(四半期損益計算書関係)注記は、次のとおりであります。

前第3四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成22年4月30日)
※ 当社では、第1四半期は年賀状印刷事業の資材・販促費等の先行支出により利益が低下、第2四半期は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末年始商戦の折込広告の大量受注により売上・利益共に増加、第3・第4四半期は年賀状印刷事業の売上がなく固定費のみ発生することにより総体の売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)
※ 当社グループでは、第1四半期は年賀状印刷事業の資材・販促費等の先行支出により利益が低下、第2四半期は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末年始商戦の折込広告の大量受注により売上・利益共に増加、第3・第4四半期は年賀状印刷事業の売上がなく固定費のみ発生することにより総体の売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

第3四半期連結会計期間

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前第3四半期連結会計期間の(四半期連結損益計算書関係)注記は記載しておりません。

なお、前第3四半期会計期間における(四半期損益計算書関係)注記は、次のとおりであります。

前第3四半期会計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)
※ 当社では、第1四半期は年賀状印刷事業の資材・販促費等の先行支出により利益が低下、第2四半期は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末年始商戦の折込広告の大量受注により売上・利益共に増加、第3・第4四半期は年賀状印刷事業の売上がなく固定費のみ発生することにより総体の売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)
※ 当社グループでは、第1四半期は年賀状印刷事業の資材・販促費等の先行支出により利益が低下、第2四半期は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末年始商戦の折込広告の大量受注により売上・利益共に増加、第3・第4四半期は年賀状印刷事業の売上がなく固定費のみ発生することにより総体の売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前第3四半期連結累計期間の(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)注記は記載していません。

なお、前第3四半期累計期間における(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)注記は次のとおりであります。

前第3四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成22年4月30日)	
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金勘定	1,237,262千円
現金及び現金同等物	<u>1,237,262千円</u>

当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)	
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金勘定	1,715,325千円
現金及び現金同等物	<u>1,715,325千円</u>
※2 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳 株式の取得により新たに株式会社味香り戦略研究所を連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに株式の取得価額と取得のための支出との関係は次のとおりであります。	
流動資産	80,843千円
固定資産	23,460千円
のれん	12,593千円
流動負債	△17,457千円
少数株主持分	△15,095千円
株式の取得価額	84,344千円
支配獲得時までの持分法評価額	△11,594千円
段階取得に係る差益	△79千円
追加取得した株式の取得価額	<u>72,670千円</u>
新規連結子会社の現金及び現金同等物	63,764千円
差引：連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	8,905千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年4月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年8月1日至平成23年4月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	3,060,110

2. 自己株式の種類及び株式数

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	82,518

3. 新株予約権の四半期連結会計期間末残高

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年10月28日 定時株主総会	普通株式	24,460	8	平成22年7月31日	平成22年10月29日	利益剰余金
平成23年3月14日 取締役会	普通株式	21,403	7	平成23年1月31日	平成23年4月14日	利益剰余金

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力

発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5. 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成23年3月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法156条の規定に基づき、自己株式の取得を行うことを決議し、平成23年3月16日に普通株式80,000株を取得いたしました。これにより、自己株式が21,200千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、チラシを中心とした印刷物全般に関する事業を展開しており、「商業印刷事業」「年賀状印刷事業」の2つを報告セグメントとしております。

「商業印刷事業」は各種商業印刷物から販促イベントの企画、テレビコマーシャル等のマルチメディア媒体、Webサイト制作、サイン広告等の様々な販促媒体を提供しております。

「年賀状印刷事業」はスーパーやドラッグストア等の店頭で販売される名入れ年賀状及びパック年賀状のデザイン制作、印刷を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,058,059	2,531,223	9,589,283	38,173	9,627,456	—	9,627,456
セグメント間の 内部売上高又は振替高	20,563	1,363	21,927	4,062	25,990	△25,990	—
計	7,078,623	2,532,586	9,611,210	42,236	9,653,446	△25,990	9,627,456
セグメント利益 又は損失(△)	△187,318	538,165	350,846	△3,273	347,573	△208,225	139,347

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△208,225千円には、セグメント間取引消去3,294千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△211,520千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,145,752	△25,152	2,120,600	10,736	2,131,336	—	2,131,336
セグメント間の 内部売上高又は振替高	744	92	837	1,238	2,075	△2,075	—
計	2,146,497	△25,059	2,121,437	11,975	2,133,412	△2,075	2,131,336
セグメント損失(△)	△105,653	△69,892	△175,546	△3,450	△178,996	△65,178	△244,175

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額△65,178千円には、セグメント間取引消去695千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△65,873千円が含まれております。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

### 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)

該当事項はありません。

#### (金融商品関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年4月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

#### (有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年4月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

#### (デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年4月30日)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

#### (持分法損益等)

第3四半期連結累計期間

前第3四半期累計期間における持分法損益等注記は以下のとおりであります。

なお、当第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成しているため記載しておりません。

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成22年4月30日)
持分法を適用した場合の投資損失の金額 (千円)	20,112

### 第3四半期連結会計期間

前第3四半期会計期間における持分法損益等注記は以下のとおりであります。

なお、当第3四半期連結会計期間については、四半期連結財務諸表を作成しているため記載しておりません。

	前第3四半期会計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)
関連会社に対する投資の金額 (千円)	70,883
持分法を適用した場合の投資の金額 (千円)	36,507
持分法を適用した場合の投資損失の金額 (千円)	6,585

### (ストック・オプション等関係)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)

該当事項はありません。

### (企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)

該当事項はありません。

### (資産除去債務関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)

資産除去債務の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動が認められません。

なお、第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しているため、第1四半期連結会計期間の期首における残高を前事業年度末日における残高とみなしております。

### (賃貸等不動産関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)

賃貸等不動産において、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)	
1株当たり純資産額	581.85円

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末の1株当たり純資産額は記載しておりません。

なお、前事業年度末における1株当たり純資産額は次のとおりであります。

前事業年度末 (平成22年7月31日)	
1株当たり純資産額	563.67円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

第3四半期連結累計期間

当第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)	
1株当たり四半期純利益	17.38円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	52,903
普通株式に係る四半期純利益(千円)	52,903
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式の期中平均株式数(株)	3,044,116

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は記載しておりません。

なお、前第3四半期累計期間における1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、次のとおりであります。

前第3四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年4月30日)	
1株当たり四半期純利益	36.59円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第3四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年4月30日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	111,875
普通株式に係る四半期純利益(千円)	111,875
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式の期中平均株式数(株)	3,057,610

### 第3四半期連結会計期間

当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)	
1株当たり四半期純損失(△)	△51.96円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 1株当たり四半期純損失の算定上の基礎

項目	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純損失(△)(千円)	△156,718
普通株式に係る四半期純損失(△)(千円)	△156,718
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式の期中平均株式数(株)	3,016,244

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前第3四半期連結会計期間の1株当たり四半期純利益は記載しておりません。

なお、前第3四半期会計期間における1株当たり四半期純損失及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、次のとおりであります。

前第3四半期会計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)	
1株当たり四半期純損失(△)	△25.19円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 1株当たり四半期純損失の算定上の基礎

項目	前第3四半期会計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)
四半期損益計算書上の四半期純損失(△)(千円)	△77,009
普通株式に係る四半期純損失(△)(千円)	△77,009
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式の期中平均株式数(株)	3,057,610

#### (重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 2 【その他】

第40期（平成22年8月1日から平成23年7月31日まで）中間配当については、平成23年3月14日開催の取締役会において、平成23年1月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

① 配当金の総額	21,403千円
② 1株当たりの金額	7円00銭
③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成23年4月14日